

平成21年9月

かんせんしょう

京都市こどもの感染症



☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

1位	2位	3位
感染性胃腸炎	手足口病	突発性発しん
発熱、下痢、嘔吐 <small>おう</small> などが主な症状です。予防は、外出後、調理前、食事前、トイレの後、オムツ交換後などの手洗いが基本となります。下痢や嘔吐が続くと脱水症になりやすいので、水分補給をこまめに行いましょう。	夏かぜの一種で、手のひらや足の裏に痛みのない水ぼうがで、口の中にも水ぼうがができます。発熱は38度以下のことがほとんどですが、水分補給をまめに行いましょう。予防には、手洗いとうがいが大切です。	赤ちゃんの「生まれて初めての発熱」であることが多く、生後6ヶ月から1歳くらいまでの子どもがよくかかります。突然の高熱が数日間続いたあと、熱が下がるとともに、発しんが出ます。

☆☆ ポリオの予防接種を受けましょう！

京都市の保健所では、毎年、4月と10月に、ポリオの予防接種を実施しています。

対象となるのは、生後3ヶ月から90ヶ月（7歳6ヶ月）の間にあるお子様ですが、生後3ヶ月から18ヶ月（1歳6ヶ月）の間の接種が望ましいとされています。

保護者の方へ 【予防接種時の注意点】

● 接種間隔と回数

ポリオワクチンは、注射ではなく、口から飲む生ワクチンです。生ワクチンですので、ポリオワクチン接種後27日間は、他のワクチンを接種することができません。

また、ポリオウイルスにはⅠ～Ⅲ型の3つのタイプがあり、すべてに免疫をつけるためには、2回の接種が必要です。今回1回目の接種を受けた方は、来年の4月以降に2回目を受けてください。



国立感染症研究所
感染症情報センターホームページから

● 接種前

下痢症状や発熱時など、お子様の体調の悪いときは、接種ができない場合がありますので、最寄りの保健所へお問い合わせください。

● 接種後

接種後、約1ヶ月は、便にウイルスが排泄せつされます。便のオムツ交換の際は、使い捨て手袋を使うか、いつもよりていねいに手を洗いましょう！



◆ 気になる症状があるときは、かかりつけの医療機関に相談しましょう！

発行 ☆ 京都市保健福祉局 保健医療課 / 衛生公害研究所

(本号及びバックナンバーは、衛生公害研究所のホームページからも御覧になれます。)